

第12回 大規模災害対策セミナー
『2018年に発生した大規模災害に関する報告』
—大阪府北部地震、西日本豪雨災害、台風21号高潮災害について—

議 事 次 第

- セミナー名：2018年度（平成30年度） 第12回 大規模災害対策セミナー
『2018年に発生した大規模災害に関する報告』—大阪府北部地震、西日本豪雨災害、台風21号高潮災害について—
- 共催：関西大学社会安全学部社会安全研究センター、特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）
- 開催日時：2019年3月19日（火） 13:00～17:30（開場・受付12:30～）
- 開催会場：関西大学梅田キャンパス 8階大ホール
（〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号）
HP: <http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/access/>
 - ・阪急「梅田駅」茶屋町側から徒歩5分
 - ・JR「大阪駅」から徒歩10分

● 主な内容：

近年、異常気象や地殻変動に伴う暴風雨、豪雨、土砂、地震による災害が頻発化し、さらにその被害規模も大規模かつ広範囲に及ぶようになってきた。特に、平成30年は、1月の大雪・暴風雪被害に始まり、7月の西日本を中心とした豪雨災害、9月から10月にかけての連続的な台風による暴風・高潮災害、さらには、4月に島根県西部地震、6月に大阪府北部地震、9月に北海道胆振東部地震と大規模な直下型地震災害も発生し、全国規模で大きな自然災害が発生した年であった。

特に、比較的災害が少なかった岡山県や大阪府、兵庫県といった大阪湾、瀬戸内海沿岸地域で豪雨、暴風・高潮、地震災害が発生し、日本が災害列島であることを再認識させられただけでなく、都市機能、ライフラインが麻痺し、復旧復興にかなりの時間を要したことから、関西及びその周辺地域がいかに脆弱であるか、それに対する日頃の備えや対策がいかに重要であるかということに改めて考えさせられた。

本セミナーは、西日本、特に関西圏で発生した「大阪府北部地震」、「西日本豪雨災害」、「平成30年台風第21号による高潮災害」の3つの災害に着目し、その被害の概要や関係機関の対応等について報告を行う。

3つの災害については、発災後すぐに土木学会の災害調査団として現地に入り、その被害状況を調査したり、災害検証委員会の委員として指導されている3名の講師により解説する。

● 講義内容・スケジュール

12:30～ 受付開始、開場

13:00～13:10 開会挨拶（河田恵昭）

（特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）／理事長）

（関西大学 理事／社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授）

13:10～14:25 講演① 『西日本豪雨災害について』

（講師）河田 恵昭 氏

（特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）／理事長）

（関西大学 理事／社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授）

14:25～14:40 休憩

14:40～15:55 講演② 『大阪府北部地震を振り返る』

(講師) 奥村 与志弘 氏

(特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)／理事)

(関西大学 社会安全学部 准教授)

15:55～16:10 休憩

16:10～17:25 講演③ 『平成 30 年台風第 21 号による高潮災害について』

(講師) 安田 誠宏 氏

(関西大学 環境都市工学部 准教授)

17:25～17:30 閉会挨拶